

海と生きる地域表現

唐桑で町民劇団準備

郷土芸能ベースに物語

気仙沼市唐桑町で、町民劇団の立ち上げ準備が進められている。伝統芸能をもとに唐桑の歴史をひもときながら、海と生きてきた地域の思いを舞台で表現していく。出演者、スタッフはすべて町内から募集し、年内に初回のステージを予定している。

11月末の初公演へ団員募集

唐桑地域には大漁唄い込みや打ちばやしなどの郷土芸能があり、それぞれ受け継いできた地域の歴史や風習などが込められている。その思いを集落の枠を超えて伝え、復興を担う子供たちが唐桑に誇りを持つようこの願いを込め、劇団「夢の海」(仮)が結成されることとなった。

劇団実行委員会(千葉貫二委員長)は町内の郷土芸能団体などで組織。復興支援を行う特定NPO・SEED

の栗原誠さん(47)が運営費などを全面的にバックアップする。子供を中心とした出演者をはじめ、音響衣装、小道具などのスタッフは町内から募集する。12、19日(いずれも午前10時と午後1時)に中集会所で募集説明会を開く。劇団への参加費は保険料のみ。演技などのレッスンは週1回を予定してお

り、都内で舞台照明などを務めた経歴を持つSEEDS Asiaの栗原誠さん(47)が担当。脚本は参加者が意見を出し合いながら作っていく。レッスンのほかに定期的なワークショップを開いて、町内の石碑巡りや高齢者を講師

市内在住Ⅱが担当。脚本は参加者が意見を出し合いながら作っていく。レッスンのほかに定期的なワークショップを開いて、町内の石碑巡りや高齢者を講師

に昔話を聞くなど歴史に理解を深める機会も設ける予定だ。初回の公演は11月30日、12月1日に市民会館で予定している。企画の検討段階から携わっている栗原さんは「伝統芸能をベースにした物語を演じること

によって、住民が伝えてきた思いを最大限知り、表現することができる。唐桑が復興していく中で、子供たちが『地域を守る』意識を持つきっかけになれば」と話し、多くの参

加を呼び掛けている。申し込み、問い合わせは栗原さん(電話080・33003・6993)まで。

南三陸町御前下地内に南三陸ポータルセンターが建設される。教育旅行の体験学習を行ったり、地域住民が交流したりする施設で、町観光協会が管

で訪れた子供たちを対象にした海藻押し葉づくりや繭細工など自然体験プログラムを提案。地域住民が行うイベントに貸し出すほか、住民が古里につい

体験と交流の場へ

ポータルセンター 7月目標に整備

南三陸町御前下地内に南三陸ポータルセンターが建設される。教育旅行の体験学習を行ったり、地域住民が交流したりする施設で、町観光協会が管

で訪れた子供たちを対象にした海藻押し葉づくりや繭細工など自然体験プログラムを提案。地域住民が行うイベントに貸し出すほか、住民が古里につい

住まいの快援隊
修理
◆ガラス◆アミ戸◆鍵◆戸車◆その他
永光トヨ住器(株)
気仙沼市最知森合9-1
TEL27-2269

によって、住民が伝えてきた思いを最大限知り、表現することができる。唐桑が復興していく中で、子供たちが『地域を守る』意識を持つきっかけになれば」と話し、多くの参